

介護実務科④

介護施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、デイサービス事業所）、訪問介護事業所、障がい者施設、病院等での介護業務ができる。また、救急対応の知識を兼ね備えた介護従事者として、幅広い福祉分野で即戦力となる意欲的で心豊かな人材を育成し、早期就職を目指します。

対象者	一般求職者（公共職業安定所長の受講指示・受講推薦又は支援指示が受けられる方） 就職意欲があり、早期就職（訓練修了後3ヶ月以内）を目指す方 全訓練日程を受講でき、取得可能資格の取得を目指す方 ※雇用保険受給者で要件を満たしている方は、受講手当・通所手当が支給されます。 ※過去1年以内に公共職業訓練を受講された方や、類似の訓練の受講履歴又は同等の資格を有する方は応募できません。
-----	--

訓練期間	令和7年 9月11日(木) ～ 令和8年 3月10日(火)		定員	20名
	■ 訓練日：月～金曜日（休日：土・日・祝日・夏季冬季休校日） ■ 訓練時間：9時15分～16時50分（1日6時間限） ※ 施設実習時には、実習先の実施時間帯となります。（例 9時～16時）			
訓練実施場所	サンシャイン総合学園		札幌市中央区北5条西6丁目1 第2北海道通信ビル9階	
取得可能資格	介護福祉士実務者研修、福祉用具専門相談員、救急法救急員			
自己負担額	受講料は無料です			
	教科書代 14,080円 ※資格取得にかかる法定講習であって無料補講等困難な場合、個人費用負担が1時間あたり2,200円かかります。			
主な就職支援	ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング、応募書類の作成方法、面接指導等			

募集期間	令和7年7月8日(火) ～ 令和7年8月6日(水) 【受付：平日／9時～17時】
応募方法	住所を管轄するハローワークで職業相談を行い、入学願書を提出してください。 ※合格決定後に、入学を辞退することのないように、よく検討のうえ応募してください。 ・入学願書はハローワークにあります。入学願書に写真（縦3.5cm×横3cm・1枚）を貼付してください。提出された入学願書は返却しません。

コース説明会	事前にお電話にて予約をお願いします。（受付時間 8時30分～17時 ※日・月・祝日除く） 日時：■ 7月16日(水) 11時～12時 ■ 7月24日(木) 11時～12時 ■ 7月31日(木) 11時～12時 会場：サンシャイン総合学園（住所 札幌市中央区北5条西6丁目1 第2北海道通信ビル9階） 担当：マスザキ 電話番号（011）232-2301（上記以外の日程についてはご相談ください）
--------	---

選考日時	令和7年8月25日(月) 9時30分～	応募者が少ない場合は訓練を中止することがあります。 応募者が定員の2倍を超えたときは抽選を実施し、受験者を決定します。
選考場所	サンシャイン総合学園 札幌市中央区北5条西6丁目1 第2北海道通信ビル9階	
持参品	筆記用具（鉛筆・消しゴム・黒ボールペン）・返信用封筒 （長形3号封筒に、郵便番号、住所、氏名を記入し、110円切手を貼付してください。）	
選考方法	筆記試験（義務教育修了程度の国語と数学）及び面接試験	
可否通知	令和7年9月3日(水) 発送予定 ※電話での結果の問合せにはお答えできません。	

お問い合わせ	住所を管轄するハローワーク又は 株式会社サンシャイン 担当 マスザキ 電話番号（011）232-2301（受付時間 8時30分～17時 ※日・月・祝日除く）
--------	---

実施主体	北海道立札幌高等技術専門学院（MONOテク札幌） 能力開発総合センター 住所 札幌市東区北27条東16丁目 電話番号（011）781-7192 この訓練は、北海道が実施主体となり、民間の教育訓練機関に委託して実施する公共職業訓練です。
------	---



「介護実務科④」 訓 練 計 画

委託先：株式会社サンシャイン

北海道立札幌高等技術専門学院

1. 訓練科名	介護実務科④
2. 訓練定員	20名
3. 訓練期間	令和7年9月11日（木）～令和8年3月10日（火）
4. 訓練時間	620時間
5. 訓練目標	介護従事者としての職業倫理や態度を養い、施設介護および訪問介護の実務者に必要な幅広い知識および技能・技術を習得し、施設介護職・訪問介護員の仕事に従事する。
6. 取得資格	介護福祉士実務者研修、福祉用具専門相談員、救急法救急員
7. 仕上がり像	介護施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、デイサービス事業所）、訪問介護事業所、障がい者施設、病院等での介護業務ができる。また、救急対応の知識を兼ね備えた介護従事者として、幅広い福祉分野で即戦力となる人材を育成。意欲的で心豊かな人材の育成。
8. 就職想定	特別養護老人ホーム・老人保健施設・グループホーム・ディサービス事業所・訪問介護事業所・障がい者施設等での介護業務、病院での看護助手

訓練内容

	教科項目	時間	訓練内容
			入学式・修了式
学 科	社会	16	オリエンテーション（5）、就職支援（11）
	人間の尊厳と自立・社会の理解	42	人間の尊厳と自立（5）、社会の理解Ⅰ（6）、社会の理解Ⅱ（31）
	介護の基本的理解とリスクマネジメント	31	介護の基本Ⅰ（10）、介護の基本Ⅱ（21）
	介護におけるコミュニケーション技術	26	コミュニケーション技術（20）、コミュニケーションワーク（6）
	生活支援技術	11	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備（8）、ターミナルケア（3）
	介護過程の基礎知識と応用	52	介護過程Ⅰ（20）、介護過程Ⅱ（26）、介護過程Ⅲ（6）
	老年期の疾病と認知症・障害の理解	98	発達と老化の理解Ⅰ（10）、発達と老化の理解Ⅱ（20）、認知症の理解Ⅰ（10）、認知症の理解Ⅱ（21）、障害の理解Ⅰ（11）、障害の理解Ⅱ（21）、認知症の理解（5）
	介護に関わるところとからだ	36	ところとからだのしくみⅠ（6）、ところとからだのしくみⅡ（30）
	医療的ケアの理論	53	医療的ケア実施の基礎（53）
	福祉用具知識	35	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割（2）、介護保険制度等に関する基礎知識（4）、高齢者と介護・医療に関する基礎知識（16）、福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識（7）、福祉用具の利用の支援に関する総合演習（5）、修了評価試験（1）
	学科小計	400	
実 技	生活支援の技術と環境整備	45	生活支援技術Ⅰ（15）、生活支援技術Ⅱ（30）（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）
	介護過程Ⅲ（演習）	39	介護過程の展開の実際、介護技術の評価
	ところとからだのしくみⅡ（演習）	48	ところとからだのしくみⅠ（18）介護に関係した体の仕組みの基礎的理解（移動、移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔）、ところとからだのしくみⅡ（30）介護・連携等の留意点（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護）
	医療的ケア実践演習	30	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）、経管栄養（基礎的知識・実施手順）、喀痰吸引演習（口腔、鼻腔、気管カニューレ内部）、経管栄養演習（胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養）、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります。
	福祉用具実技	16	個別の福祉用具に関する知識（16）
	救急法	18	心肺蘇生法、AED使用法、止血法、包帯法、固定法、搬送及び救護事故防止、人工呼吸や胸骨圧迫方法、検定
	施設実習	24	介護実習
	実技小計	220	
合 計		620	

※上記の他に、キャリア・コンサルティングの時間を別途放課後等に設定